

10代の世論調査2012前期 実施結果

2012年7月13日(金)

模擬選挙推進ネットワーク

<http://www.mogisenkyo.com>

「10代の世論調査2012前期」のデータを使用された際は連絡をいただければ幸いです

実施概要

◆ 調査方法

これまで「未成年“模擬”選挙」に取り組まれてきた学校の先生方を中心に実施協力を呼びかけ、在籍している生徒・学生に対して質問紙方法(マークシート+自由記述)で実施

※インターネットを通じての調査ではない

◆ 実施期間

2012年5月16日(水)～6月13日(水)

◆ 対象

国内の中学校・高校・大学に在籍している10代

回答者の属性

◆ 回答数 合計1,999人

<内訳>

(1)学年

中学生709人(中1:153人/7.7%、中2:128人/ 6.4%、中3:428人/ 21.4%)

高校生1,198人(高1:475人/ 23.8%、高2:226人/ 11.3%、高3:497人/ 24.9%)

大学生92人/ 4.6%

(2)性別

男性:784人(37.7%) 女性:1059人(53.0%) 不明:156人(7.8%)

(3)参加学校

中学校4校(公立2校、私立2校)、高校8校(公立4校、私立4校)

大学1校(私立1校)

※学校所在地:東京都、埼玉県、千葉県、三重県、京都府、兵庫県

基本的な質問（必ず答えてください） あなた自身について

◆ 1. あなたは、自分のことを好きだと思いますか。〈5段階〉

1)好きでない	231人(11.6%、中13.5%、高10.1%)
2)あまり好きでない	401人(20.1%、中18.0%、高20.8%)
3)どちらとも言えない	<u>822人(41.3%、中44.3%、高39.8%)</u>
4)少し好きだ	337人(16.9%、中14.2%、高19.0%)
5)好きだ	200人(10.0%、中10.1%、高10.3%)

◆今の自分が好きですか

中2:とても思う6.4%、少し思う20.9%、あまり思わない43.6%、全く思わない28.1%、不明1.0%
高2:とても思う5.8%、少し思う22.3%、あまり思わない45.0%、全く思わない26.2%、不明0.8%

※「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」(平成22年度調査 [国立青少年教育振興機構](#))

基本的な質問（必ず答えてください） あなた自身について

◆ 2. あなたは、自分が世の中で役に立つ人間であると思いますか。〈5段階〉

1)役に立たないと思う	273人(13.7%、中14.3%、高13.2%)
2)あまり役に立たないと思う	478人(24.0%、中21.5%、高25.2%)
3)どちらとも言えない	<u>757人(38.0%、中38.5%、高37.9%)</u>
4)少し役に立つと思う	372人(18.7%、中19.8%、高18.1%)
5)役に立つと思う	110人(5.5%、中5.7%、高5.6%)

基本的な質問（必ず答えてください） あなた自身について

◆ 3. あなたは、今の生活に満足していますか。〈5段階〉

1)満足していない	139人(7.0%、中7.4%、高7.1%)
2)あまり満足していない	322人(16.2%、中14.1%、高16.8%)
3)どちらとも言えない	376人(18.9%、中16.8%、高19.8%)
4)少し満足だ	569人(28.6%、中25.3%、高30.2%)
5)満足だ	581人(29.2%、中36.5%、高26.2%)

基本的な質問（必ず答えてください） あなた自身について

◆ 4. あなたは、自分の将来に希望があると感じていますか。＜5段階＞

1)希望はないと感じている	96人(4.8%、中5.8%、高4.1%)
2)あまり希望はないと感じている	275人(13.8%、中12.8%、高14.0%)
3)どちらとも言えない	553人(27.8 %、中27.0%、高27.6%)
4)少し希望はある	<u>599人(30.2 %、中30.2%、高30.6%)</u>
5)希望はある	463人(23.3 %、中24.3%、高23.6%)

基本的な質問（必ず答えてください） あなた自身について

◆ 5. あなたは、自分の学校における授業に満足していますか。 ＜5段階＞

1)満足していない	140人(7.0%、中7.5%、高6.5%)
2)あまり満足していない	355人(17.9%、中16.2%、高6.5%)
3)どちらとも言えない	661人(33.3%、中28.3%、高36.3%)
4)少し満足だ	511人(25.7%、 中29.7% 、高23.6%)
5)満足だ	320人(16.1%、中18.2%、高15.6%)

基本的な質問（必ず答えてください） 今の政治について

◆ 6. あなたは、野田内閣を支持しますか。〈5段階〉

1)支持しない	324人(16.5%、中18.7%、高16.1%)
2)あまり支持しない	445人(22.7%、中24.7%、高21.8%)
3)どちらとも言えない	<u>878人(44.8%、中40.9%、高46.3%)</u>
4)少し支持する	209人(10.7%、中11.0%、高10.0%)
5)支持する	96人(4.9%、中4.3%、高5.3%)

◆野田内閣を 支持する27% 支持しない56%

※NHK 7月6日(金)~8日(日)実施 回答数1,089人

<http://www.nhk.or.jp/bunken/yoron/political/index.html>

◆野田内閣の 支持率21.3% 不支持率60.3%

※時事通信 7月6日(金)~9日(月)実施 2000人対象(回答率64.7%)

http://www.jiji.com/jc/v?p=ve_pol_cabinet-support-cgraph&rel=y&g=phl

基本的な質問（必ず答えてください）

今の政治について

- ◆ 7. すぐ前の6. で「支持する」(4と5)と答えた方にお聞きします。
あなたが野田内閣を支持する理由はなんですか。2つまで選んでください。

1: 政策に期待できる	68人(16.6%、中16.4%、高16.9%)
2: 首相に指導力がある	25人(6.1%、中5.3%、高5.9%)
3: 首相が信頼できる	73人(17.8%、中9.9%、高21.6%)
4: 閣僚の顔ぶれがよい	14人(3.4%、中5.9%、高2.1%)
5: 民主党中心の政権だから	23人(5.6%、中5.9%、高5.5%)
6: これまでの内閣よりよい	<u>123人(30.0%)</u> 、中28.9%、高30.5%
7: その他	78人(19.0%、中12.5%、高23.7%)
0: わからない	89人(21.7%、 <u>中31.6%</u> 、高16.1%)

基本的な質問（必ず答えてください） 今の政治について

- ◆ 8. 前の6. で「支持しない」(1と2)と答えた方にお聞きします。
あなたが野田内閣を支持しない理由はなんですか。2つまで選んでください。

1: 政策に期待できない	415人(47.8%、中46.0%、高49.8%)
2: 首相に指導力がない	254人(29.3%、中25.2%、高31.9%)
3: 首相が信頼できない	203人(23.4%、中23.8%、高23.6%)
4: 閣僚の顔ぶれがよくない	56人(6.5%、中6.2%、高6.7%)
5: 民主党中心の政権だから	53人(6.1%、中6.5%、高6.0%)
6: これまでの内閣のほうがよい	33人(3.8%、中4.4%、高3.6%)
7: その他	80人(9.2%、中10.3%、高8.9%)
0: わからない	110人(12.7%、中15.8%、高9.5%)

基本的な質問（必ず答えてください）

今の政治について

◆ 9-10. あなたが支持する政党はどれですか

01: 民主党	256人(13.0%、中12.5%、高13.6%)
02: 自由民主党	272人(13.8%、中15.7%、高12.8%)
03: 公明党	42人(2.1%、中2.5%、高1.9%)
04: 日本共産党	19人(1.0%、中1.0%、高0.9%)
05: 新党きづな	8人(0.4%、中0.7%、高0.3%)
06: 社会民主党	10人(0.5%、中0.3%、高0.7%)
07: みんなの党	78人(4.0%、中4.8%、高3.5%)
08: 国民新党	6人(0.3%、中0.6%、高0.2%)
09: 新党大地・真民主	1人(0.1%、中0.0%、高0.1%)
10: たちあがれ日本	33人(1.7%、中2.6%、高1.1%)
11: 新党日本	16人(0.8%、中1.0%、高0.7%)
12: 新党改革	13人(0.7%、中0.6%、高0.8%)
13: その他の政党	13人(0.7%、中0.6%、高0.8%)
14: 支持する政党が無い	498人(25.3%、中20.0%、高28.8%)
0: わからない	650人(33.0%、中32.5%、高32.5%)

◆ 民主党12.5%、自民党12.5%、公明党3.1%、共産党1.9%、みんなの党1.0%、社民党0.5%、国民新党0.2%、たちあがれ日本0.2%。支持政党なしの「無党派層」は71.4%

※時事通信 7月6日(金)~9日(月)実施 2000人対象(回答率64.7%)

http://www.jiji.com/jc/v?p=ve_pol_cabinet-support-cgraph&rel=y&g=phl

基本的な質問（必ず答えてください） 今の政治について

◆ 11. あなたは、今もしあなたに選挙権があったら投票に行きますか。〈5段階〉

1)絶対に行かない	126人(6.4%、中8.8%、高5.3%)
2)多分行かない	391人(19.8%、中21.9%、高18.8%)
3)どちらとも言えない	265人(13.4%、中13.0%、高13.1%)
4)多分行く	<u>792人(40.1%、中36.5%、高42.1%)</u>
5)絶対に行く	384人(19.5%、中18.7%、高20.1%)

基本的な質問（必ず答えてください）

今の政治について

◆ 12-13. もしあなたに選挙権があり、すぐに衆議院議員総選挙が行われて投票に行く場合、比例代表選挙でどの政党に投票したいですか。

01: 民主党	288人(14.8%、中14.6%、高14.9%)
02: 自由民主党	304人(15.6%、中17.2%、高14.6%)
03: 公明党	47人(2.4%、中2.8%、高2.2%)
04: 日本共産党	18人(0.9%、中0.9%、高1.0%)
05: 新党きづな	8人(0.4%、中0.3%、高0.4%)
06: 社会民主党	9人(0.5%、中0.4%、高0.5%)
07: みんなの党	67人(3.4%、中3.7%、高3.4%)
08: 国民新党	8人(0.4%、中0.7%、高0.3%)
09: 新党大地・真民主	0人(0.0%、中0.0%、高0.0%)
10: たちあがれ日本	32人(1.6%、中3.1%、高0.8%)
11: 新党日本	16人(0.8%、中0.7%、高0.9%)
12: 新党改革	18人(0.9%、中1.9%、高0.4%)
13: その他の政党	17人(0.9%、中1.0%、高0.8%)
14: 支持する政党が無い	391人(20.1%、中17.1%、高22.3%)
0: わからない	674人(34.6%、中31.8%、高35.4%)

基本的な質問（必ず答えてください）

今の政治について

◆ 14. あなたは、今の日本の政治に関心がありますか。＜5段階＞

1)関心はない	334人(17.2%、中21.9%、高14.7%)
2)あまり関心ない	<u>534人(27.5%、中25.4%、高28.6%)</u>
3)どちらとも言えない	347人(17.8%、中20.4%、高16.3%)
4)少しある	505人(26.0%、中22.0%、高28.0%)
5)関心ある	212人(10.9%、中9.4%、高11.8%)

◆国や地域の政治や選挙に関心がある

中2:とても当てはまる8.7%、少し当てはまる19.1%、あまり当てはまらない33.7%、全く当てはまらない37.5%、不明0.9%

高2:とても当てはまる8.8%、少し当てはまる22.2%、あまり当てはまらない36.3%、全く当てはまらない31.8%、不明0.9%

※「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」(平成22年度調査 [国立青少年教育振興機構](#))

基本的な質問（必ず答えてください） 今の政治について

◆ 回答用紙の裏面に、ボールペンで(鉛筆の場合、誤読の可能性が高いです)以下の質問に、質問番号を記して自由記述で答えてください。

- ① 総理大臣になって欲しい国会議員
- ② 総理大臣になって欲しい有名人
- ③ 政治家に言いたいこと
- ④ 社会(保護者や大人)に言いたいこと

※回答は別紙参照

追加的な質問（余裕があれば教えてください） 今の政治上の問題について

◆ 15. 消費税率を上げることに賛成ですか。〈5段階〉

1) 賛成しない	646人(36.2%、中46.1%、高30.8%)
2) あまり賛成しない	393人(22.0%、中20.4%、高22.6%)
3) どちらとも言えない	322人(18.0%、中17.8%、高18.1%)
4) 少し賛成する	250人(14.0%、中8.0%、高17.3%)
5) 賛成する	173人(9.7%、中7.5%、高11.1%)

◆ 社会保障の財源にあてるために、消費税を2014年4月に8%に、2015年10月に10%に引き上げる法案に、賛成42% 反対49%

※朝日新聞 6月26、27日調査結果 有効回答1818人

<http://www.asahi.com/special/08003/TKY201207090521.html>

追加的な質問（余裕があれば教えてください） 今の政治上の問題について

◆ 16. あなたは、将来、国内の原子力発電所をどうすべきだと思いますか。

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1:増やすべき | 57人(3.2%、中4.5%、高2.7%) |
| 2:再稼働して、現状を維持すべき | 324人(18.2%、中17.8%、高18.3%) |
| 3:ゆっくりと減らすべき | 911人(51.3%、中44.0%、高56.0%) |
| 4:すぐに減らして、早く全廃させるべき | 236人(13.3%、中12.5%、高13.5%) |
| 0:わからない | 240人(13.5%、中20.6%、高9.1%) |

- ◆ 「増設して積極的に稼働させるべきだ」3.6%
「維持して稼働させるべきだ」15.1%、
「原発をいったん再稼働させた上で依存度を引き下げ将来ゼロにする」40.2%
「このまま稼働させず、代替エネルギーでしのぐべきだ」20.5%
※時事通信 5月13日～16日実施 2000人対象(回答率65.8%)

http://www.jiji.com/jc/v?p=ve_soc_genpatu-fukushima20120521j-05-w420

追加的な質問（余裕があれば教えてください） 今の政治上の問題について

◆ 17. あなたは、発電エネルギーとして今後何を増やすべきだと思いますか。2つまで選んでください。

1:石油	57人(3.2%、中5.1%、高2.1%)
2:石炭	33人(1.9%、中2.0%、高1.8%)
3:天然ガス	119人(6.7%、中6.7%、高6.7%)
4:水力	331人(18.7%、中17.7%、高19.0%)
5:原子力	70人(4.0%、中5.1%、高3.5%)
6:太陽	<u>1001人(56.6%、中49.9%、高60.6%)</u>
7:風力	494人(27.9%、中31.6%、高25.6%)
8:地熱	353人(19.9%、中16.0%、高22.8%)
9:その他	73人(4.1%、中2.8%、高4.8%)
0:わからない	194人(11.0%、中17.5%、高6.8%)

追加的な質問（余裕があれば教えてください） 今の政治上の問題について

◆ **18.** 今、成人年齢を**20歳**から**18歳**に引き下げることと、選挙権年齢を**18歳**に引き下げて若者層の政治参加を促すことが検討されています。

あなたは、成人年齢を**18歳**に下げること賛成ですか。＜5段階＞

1) 賛成しない	376人(21.4%、中20.3%、高21.7%)
2) あまり賛成しない	322人(18.4%、中16.6%、高18.6%)
3) どちらとも言えない	374人(21.3%、中21.2%、高22.1%)
4) 少し賛成する	268人(15.3%、中14.9%、高15.5%)
5) 賛成する	321人(18.3%、中22.9%、高15.9%)

追加的な質問（余裕があれば教えてください） 今の政治上の問題について

◆ 19. あなたは、選挙権年齢を18歳に下げること賛成ですか。 ＜5段階＞

1)賛成しない	275人(15.8%、中14.6%、高16.6%)
2)あまり賛成しない	302人(17.3%、中15.2%、高18.4%)
3)どちらとも言えない	486人(27.9%、中29.3%、高27.5%)
4)少し賛成する	324人(18.6%、中19.3%、高17.4%)
5)賛成する	326人(18.7%、中18.9%、高19.1%)

◆ 選挙権年齢と成人年齢は一致させることが適切か？

・選挙権、成人年齢ともに18歳	10463 票(43%)
・選挙権は18歳、成人年齢は20歳	2557 票(11%)
・選挙権は20歳、成人年齢は18歳	2452 票(10%)
・選挙権、成人年齢ともに20歳	8777 票(36%)
・わからない	173 票(1%)
・その他	484 票(2%)

※Yahoo!リサーチ：実施期間：2012年2月23日～2012年3月4日 計24906票

http://polls.dailynews.yahoo.co.jp/quiz/quizresults.php?poll_id=7603&wv=1&typeFlag=1

追加的な質問（余裕があれば教えてください） 今の政治上の問題について

◆ 20. 前の19の理由について、次の中からそうだと思うものを2つまで選んでください。

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 0: 若者が政治に無関心 | 622人(36.5%、中33.0%、高38.1%) |
| 1: 選挙をしてもムダである | 166人(9.7%、中9.7%、高10.4%) |
| 2: 若者が支持する党や人がいない | 253人(14.8%、中12.5%、高16.2%) |
| 3: 何も変えられない | 285人(16.7%、中19.6%、高15.1%) |
| 4: 若者が政治を信用していない | 192人(11.3%、中10.7%、高11.5%) |
| 5: 若者に多くの権利を与えるべき | 152人(8.9%、中11.6%、高7.7%) |
| 6: 先進国の大半がそうだから | 43人(2.5%、中2.3%、高2.8%) |
| 7: 若者がもっと政治に関心を持てるようにする | 413人(24.2%、中22.9%、高24.7%) |
| 8: 若者自身が生活を変えられるようにしたい | 133人(7.8%、中9.7%、高6.3%) |
| 9: 社会を変えるキッカケになる | 272人(16.0%、中17.2%、高14.8%) |

追加的な質問（余裕があれば教えてください） 政治や社会のあり方について

◆ 21. 選挙の投票についてのあなたのお考えは、次のうち、どれに近いでしょうか。

1: 投票は国民の義務である	494人(29.0%、中18.8%、高34.5%)
2: どちらとも言えない	158人(9.3%、中10.4%、高8.7%)
3: 投票は国民の権利である	796人(46.7%、中46.9%、高46.7%)
0: わからない	233人(13.7%、中22.1%、高9.1%)

追加的な質問（余裕があれば教えてください） 政治や社会のあり方について

◆ 22. 選挙の投票を棄権するのは、悪いことだと思いますか。＜5段階＞

1) 棄権するのは悪いことではない

311人(18.2%、中18.8%、高18.3%)

2) 棄権するのはあまり悪いことではない

224人(13.1%、中11.1%、高14.6%)

3) どちらとも言えない

515人(30.2%、中35.2%、高26.5%)

4) 棄権をするのは少し悪いことである

418人(24.5%、中19.6%、高26.9%)

5) 棄権をするのは悪いことである

202人(11.8%、中10.6%、高12.7%)

追加的な質問（余裕があれば教えてください） 政治や社会のあり方について

◆ 23. これからの日本のあるべき姿として、あなたのイメージに最も近いものはどれですか。

1: 競争と効率を重視した社会	275人(16.5%、中14.8%、高17.3%)
2: 福祉を重視した社会	<u>618人(36.4%、中28.0%、高41.3%)</u>
3: 上の2つ以外の社会	410人(24.1%、中24.7%、高23.8%)
0: わからない	375人(22.1%、中30.5%、高17.0%)

追加的な質問（余裕があれば教えてください） 政治や社会のあり方について

◆ 24. 全体的にみて、現在の日本は良い方向に向かっていると思いますか。〈5段階〉

1) そう思わない	566人(33.5%、中34.2%、高34.3%)
2) あまり思わない	<u>675人(40.0%、中35.4%、高41.9%)</u>
3) どちらとも言えない	353人(20.9%、中23.3%、高19.0%)
4) 少し思う	63人(3.7%、中4.2%、高3.5%)
5) そう思う	24人(1.4%、中2.0%、高1.2%)

追加的な質問（余裕があれば教えてください） 政治や社会のあり方について

◆ 25. 国連「子どもの権利条約」には、意見表明権、子どもの
思っていることを大人に聞いてもらう権利というものが規定され
ています。

あなたは、日本で子どもの意見を大人が十分に聞いていると
思いますか。〈5段階〉

1) そう思わない	541人(32.0%、 <u>中36.6%</u> 、高30.5%)
2) あまり思わない	602人(<u>35.6%</u> 、中28.5%、 <u>高38.1%</u>)
3) どちらとも言えない	364人(21.5%、中22.7%、高21.2%)
4) 少し思う	118人(7.0%、中7.7%、高6.4%)
5) そう思う	46人(2.7%、中3.0%、高2.7%)

追加的な質問（余裕があれば教えてください） 政治や社会のあり方について

◆ 26. あなたは、子どもの意見表明権を日本がもっと重視すべき
と思いますか。〈5段階〉

1) そう思わない	92人(5.5%、中6.9%、高5.0%)
2) あまり思わない	124人(7.4%、中6.9%、高7.6%)
3) どちらとも言えない	439人(26.2%、 <u>中28.4%</u> 、高25.4%)
4) 少し思う	<u>543人(32.4%</u> 、中24.7%、 <u>高36.1%</u>)
5) そう思う	442人(26.4%、中29.6%、高24.3%)

模擬選挙推進ネットワーク・紹介

《概要》

学校の先生を含め全国で未成年模擬選挙を実施している人間で構成しているネットワーク組織。模擬選挙の普及活動のほか、10代のための永田町体感ツアー・政党本部探検など、未成年者に政治に興味・関心を持ってもらえるプログラムを提供している。

※模擬選挙推進ネットワークは特定の政党・宗教団体の影響下でない「公平・中立・公正」な組織です

《事業》

①市民性を育む場作り事業

・未成年模擬選挙：有権者ではない、未来の有権者である20歳未満が、実際の選挙にあわせて実際の立候補者・政党に対して投票する。実際の選挙結果との比較や、投票理由などを議員に届ける。

※模擬選挙に取り組む先生・地域向け「模擬選挙ハンドブック」 <http://www.mogisenkyo.net/handbook>

模擬選挙資料(投票用紙・授業案・政策比較表・ワークシートなど) <http://www.mogisenkyo.net/tool/>

・生の政治に触れる：授業での学習、各政党マニフェストや新聞記事、10代による公開質問状、政治家と意見交換を行う「永田町ツアー」などを通して、社会のあり方について考え議論する場を設ける。

②市民性教育のありかた調査研究事業

・国内外の市民性／民主主義教育の情報収集と研究会実施(2004年および2008年のアメリカ大統領選挙での模擬選挙の視察/アメリカでは約700万人が投票)

・主に中高生世代の社会意識や市民性のとらえかたを探る「10代の世論調査」の実施

《設立年》

2006年12月設立(NPO法人Rightsが2002年2月から取り組んできた「未成年“模擬”選挙」の運営を、より「中立・公正」かつ戦略的に推進していく組織として発展・独立)

模擬選挙推進ネットワーク・紹介

《活動の成果・実績》

- ・2002年2月の町田市長選挙以降、すべての国政選挙、首長選挙(知事選、市長選など)、議会選挙などで模擬選挙を実施し、これまでに延べ4.5万人以上の未来の有権者が投票
- ・日本青年会議所「2005年度人間力大賞・衆議院議長奨励賞」受賞
- ・財団法人明るい選挙推進協会「平成19年度明るい選挙推進優良活動」表彰
- ・経済産業省「シティズンシップ教育と経済社会での人々の活躍についての研究会」報告書での掲載
- ・教育再生懇談会(内閣府)でプレゼン(2009年3月)
- ・マニフェスト大賞実行委員会「第5回マニフェスト大賞〈市民部門:マニフェスト推進賞優秀賞〉」受賞(2010年10月) など

《賛同・協力(順不同/敬称略)》

模擬選挙実施学校 政策シンクタンク「構想日本」 社団法人日本青年会議所
財団法人明るい選挙推進協会 各地の公開討論会実施団体 模擬選挙応援団
各地の模擬選挙実施団体・グループ 投票してくださる未来の有権者の皆さん など

《連絡先》

模擬選挙推進ネットワーク <http://www.mogisenkyo.com>

〒194-0032 東京都町田市本町田939-9 電話:090-1991-7458(事務局長・林) jza04643@nifty.ne.jp

※模擬選挙を運営するためには、学校へのマニフェスト・ポスターの送料、政党訪問や打合せ時の交通費・通信費、打合せ場所の賃借料、印刷物のデザイン費・作成費、ウェブサイトの維持費などが必要になります。運営に対する御寄附を頂戴できますと幸いです。

〈御寄附振込先〉三菱東京UFJ銀行 普通預金 高田馬場支店 2119738 模擬選挙推進ネットワーク

(参考1)実際に選挙に合わせて「未来の有権者」が投票を行う「模擬選挙」は、シ
ティズンシップ教育として海外ではポピュラー

- ①国民の一人と実感し民主主義を体感
- ②賢い有権者を育てる ③投票率UP

2008年アメリカ大統領選挙→全米約**700万人**が投票



2010年参議院議員選挙→未来の有権者**5673人**が投票

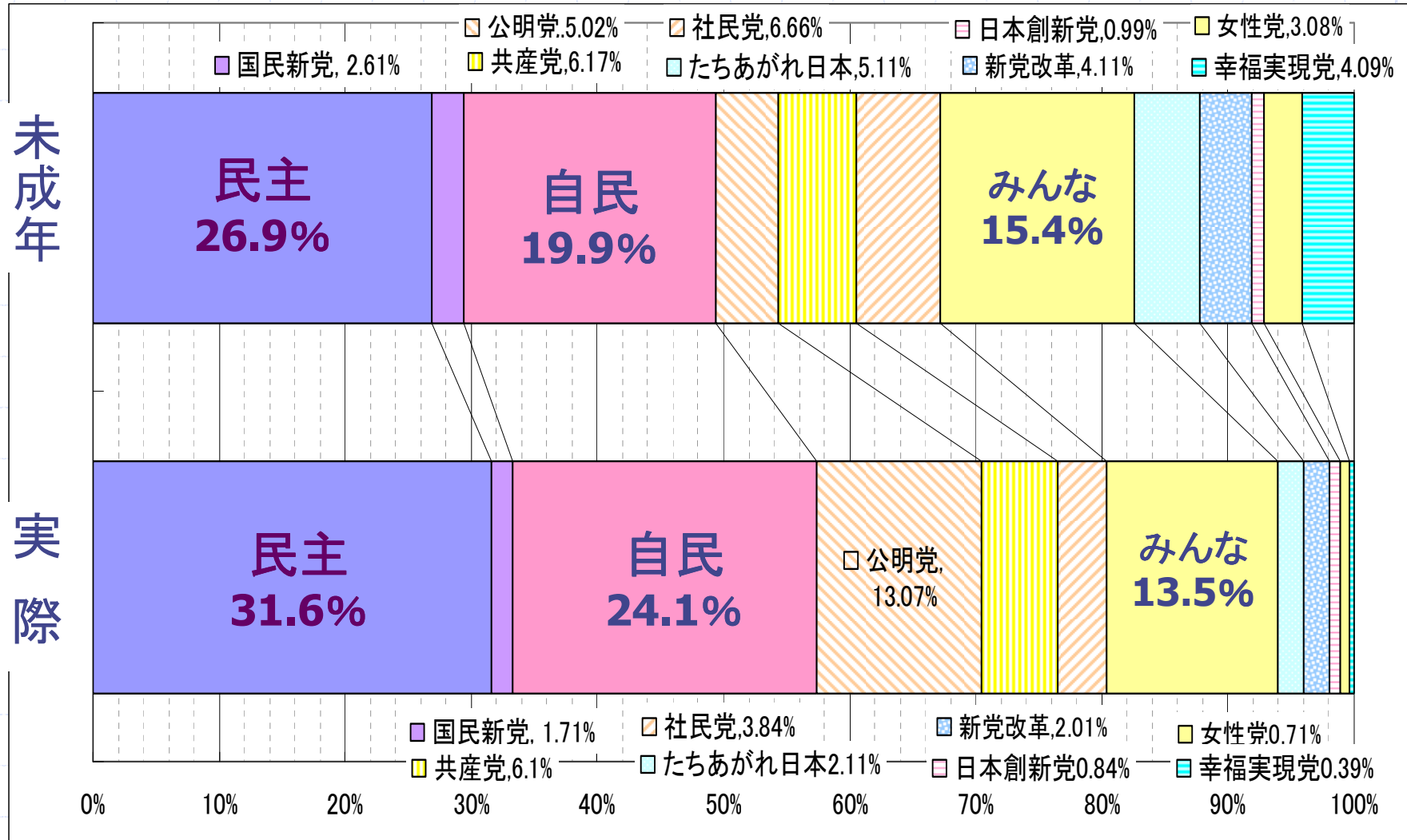


玉川学園中等部

都立戸山高校

(参考2)5673人の“未来の有権者”が投票した、2010年参院選

民主26.9%(実際は31.6%/以下同)、自民19.0%(24.1%)、みんな15.4%(13.6%) など



(参考3)若年層の政治への関心度

若年層の政治への関心度は、高校までの学校の授業で政治や選挙について学んだことのない人(34.6%)よりも、ある人(60.1%)のほうが高い

(明るい選挙推進協会「若い有権者の意識調査(第3回)2010年1月公表」)

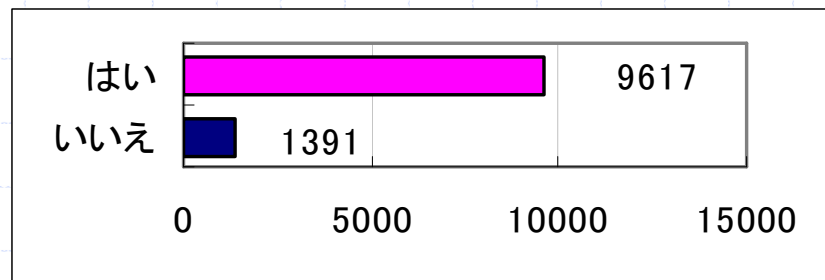
政治や選挙を学んだ記憶	政治への関心		
	非常にある +ある程度ある	あまりない +全然ない	わからない
ある	60.1%	36.8%	3.1%
ない	34.6%	58.0%	7.4%
全体	57.2%	39.2%	3.6%

若年層の政治への関心を高めることが不可欠

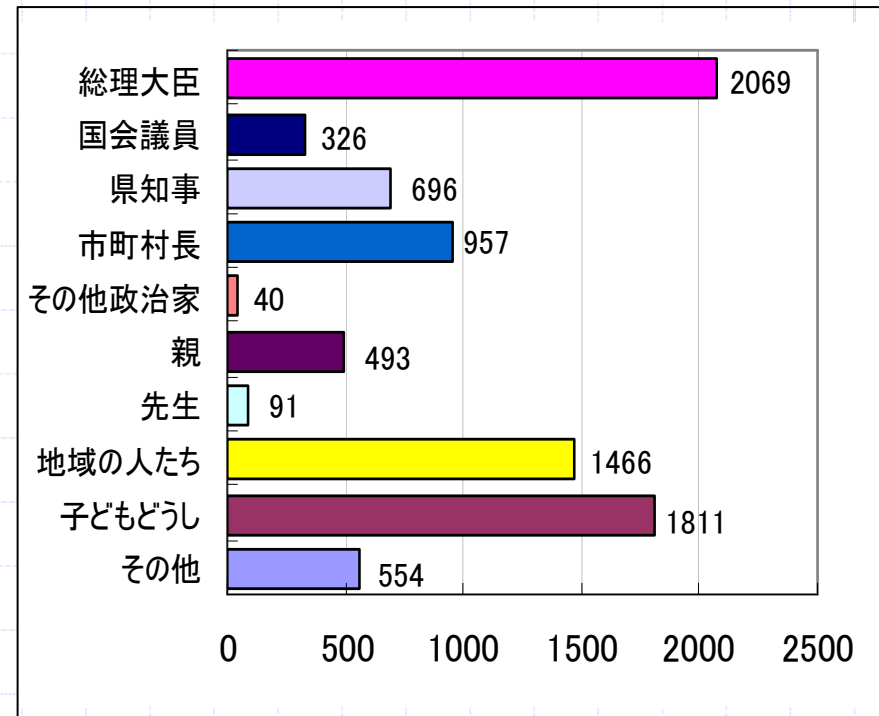
(参考4) 9割の子どもたちが復興にむけたまちづくりに関わりたい

あなたは自分のまちのために、
何かしたいと思いますか？

	総数	比率
はい	9,617	87.4%
いいえ	1,391	12.6%
全体	11,008	100%



あなたは自分のまちをよくするために、
だれと話をしてみたいですか？



＜調査＞ 社団法人セーブザ・チルドレン・ジャパンが、2011年5月24日から6月4日にかけて、宮城県・岩手県の5地域の小学4年生から高校3年生を対象にアンケート調査票を学校に配布し、自記式で行った。計89校より11,888票を回収(有効回答数11,008票)